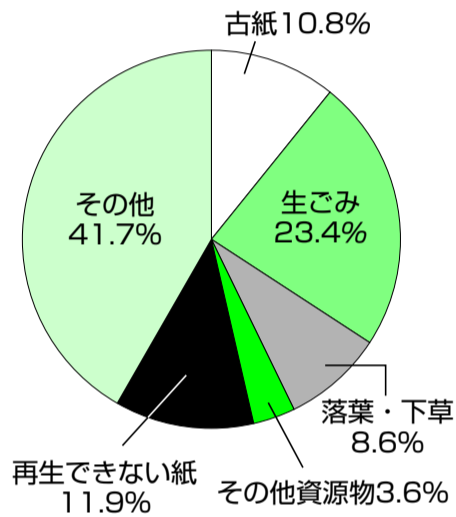


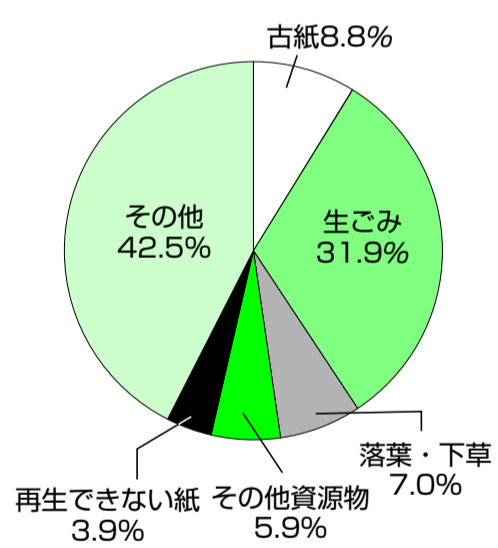
ごみの組成分析の結果をお知らせします。

狛江市ビン・缶リサイクルセンターでは市民の方の参加によるごみの組成分析を毎年度実施しており、下の円グラフのような結果となりましたのでお知らせします。前年度と比べると、生ごみの割合が減少しています。生ごみの多くは水分であるため、捨てる前に水切りや乾燥させて出すことが大切です。また、生ごみ処理機や生ごみ堆肥化容器を活用することも有効です（購入費の助成制度があります）。ごみの減量にご協力をお願いします。

平成21年度 (平成22年3月30日実施)



平成20年度 (平成21年3月31日実施)



発火物の分別をお願いします。

先日、東京都環境局から「エアゾール缶等に起因した清掃車火災の防止について」の通知を受けました。東京消防庁管内で平成17年から平成21年までの5年間にエアゾール缶等に起因した火災が908件発生しており、このうち、清掃車の火災は586件(64.5%)と多数を占めています。原因としては、最後まで使いきっていないエアゾール缶等を『発火物』として分別せずに、不燃ごみなどに混ぜて捨ててしまうため、清掃車で圧縮する際に残存ガスが噴出

し、圧縮時等に発生した火花で引火し、火災に至っていると推測されています。

狛江市では、スプレー缶・ガスボンベ・ライターなどは『発火物』として分別収集しています。このような事故が起こらないように、必ず『発火物』の収集日にお出しください。分別にご協力をお願いします。穴をあけなくても構いませんが最後まで使いきって出してください。なお、中身を使いきっていないものは、清掃課に直接お持ち込みください。



お知らせ ごみ半減新聞は戸別配布となります。

ごみ半減新聞は平成7年12月の創刊以来、ごみの分別方法や処理方法など詳しく掲載するとともに、ごみの減量についての啓発を進めてまいりました。そして今号からは戸別配布を開始し、より多くの方のお手元に行き渡るようになりました。これからもごみのことについて、より身近にみなさまに感じていただけるよう分かりやすい紙面づくりに取り組んでまいります。